



# 井本宗司市長の マニフェスト

## 通信簿

井本宗司市長が市長に就任したのが平成 17 年9月。これまで一貫して「市民が主人公」、「愛郷の精神」、「先手先取の対応」を信条に、市民の皆様に約束した施策の実現に果敢に取組み、2016 年には日経ビジネス誌の「活力ある都市ランキング」で、全国第 2 位に選ばれるなど、大野城市を福岡都市圏の中堅都市として着実に発展させてきました。そこで、「数値で見る 3 期 12 年の実績」とこれまで三期にわたる「マニフェストの取組み状況と評価」という二つの視点から 3 期 12 年の活動を「マニフェスト通信簿」としてまとめました。

54321

① 数字で見る井本市政3期12年の実績

分野	項目	H18	H23	H27	成 果
コミュニティ	大野城市の人口	93,381人	95,977人	99,322人	平成28年8月に10万人達成
	審議会等への女性登用率	21.6%	32.1%	43.6%	22%アップで目標の40%を達成
	コミュニティセンターでの諸証明発行件数	16,416件	27,601件	35,308件	2倍以上増加
教育・文化	小中学校の学校図書館の蔵書数	173,605冊	197,425冊	208,015冊	3万4千冊以上増加
	学校施設の耐震化率(主要構造部)	20%	100%	100%	100%を達成
	図書館貸出し冊数	824,477冊	942,804冊	986,890冊	16万冊以上増加
産業・経済	市中小企業融資制度での融資実行件数	246件	276件	291件	45件増加
健康・福祉	保育所の定員数	1,505人	1,549人	2,003人	約500人増加
	シニア大学山城塾の受講人数	一	85人	209人	平成23年度に開講
	介護予防教室参加者数	4,510人	4,360人	5,950人	30%増加
	地域密着型サービス施設の整備数	6施設	17施設	19施設	3倍増
環境・安全	市民一人あたりのごみ排出量	610g	569g	546g	64g減量
	災害時応援協定を締結した事業所等の数	3件	7件	26件	23件増加
	市内での刑法犯発生件数	2,065件	1,266件	993件	1,000件以上減少
	第1種自然環境保護区域の市有化面積	624,418m <sup>2</sup>	860,642m <sup>2</sup>	1,129,109m <sup>2</sup>	50万m <sup>2</sup> 以上増加
都市・建設	西鉄連続立体交差事業の進捗率(事業費ベース)	7.48%	26.67%	58.74%	着実に進捗
	都市計画道路の整備済延長	30,566m	32,757m	40,121m	約9.5km延伸
	都市公園面積	1,069,335m <sup>2</sup>	1,227,171m <sup>2</sup>	1,236,340m <sup>2</sup>	約167千m <sup>2</sup> 増加
	コミュニティバスまどか号の年間利用者数	428,201人	446,859人	467,129人	約38,900人増加
	雨水幹線の整備延長	170m	1,240m	2,380m	2km以上延伸
	雨水流出抑制施設の整備個所数	1箇所	5箇所	9箇所	予定箇所整備完了
地域経営	市ホームページへのアクセス件数	1,111,420件	1,352,419件	1,541,513件	40%近く増加
	財政力指数	0.74	0.79	0.79	政令指定都市を除く県内市第1位 ※1に近いほど財政に余裕がある。
	経常収支比率	91.0	91.3	84.9	改善 ※高いほど財政構造が硬直化している。
	市民一人あたりの市債残高	317,663円	272,523円	224,252円	93,411円減少

**② 1期目マニフェスト(公約)の取組み状況と評価(H17~H21)**

テーマ	マニフェストの項目	主な取り組みの状況	評価
ご利益のあるコミュニティ都市をめざして ～市民こそ主人公～	コミュニティセンターの増強	新コミュニティ構想に基づきコミュニティセンターに自助・共助・公助のそれぞれの組織を設置	★★★★★
	市役所・公民館等の土・日開館と役割の明確化	市役所週末窓口サービス開始／ワンストップ窓口「まどかフロア」の設置／365日対応のコールセンターを開設／公民館土日開館の実現など	★★★★★
	地域ボランティアの育成と地域での役割の明確化	ボランティア活動ガイドブックの作成／使ってパンク暮らしのサポート事業の実施など	★★★★☆
	文化活動・スポーツ活動等をとおした多世代交流	子ども文化活動・交流事業の実施／子ども文化団体連絡協議会の設立／古代山城サミットの開催など	★★★★★
自治体仕事宣言 ～実力、サービス、No.1 自治体が目標～	職員力の向上と年功人事の改革	人材育成型人事評価制度の導入／人づくり基本構想の策定など	★★★★☆
	仕事を創る人材の育成	職員研修の充実／窓口サービス顧客満足度調査の実施／職員自主研究の奨励など	★★★★★
	事務事業評価システムの導入	統合型行政評価システム「公共サービスD O C K事業」の導入／民間活用のあり方診断の実施／業務・システム最適化診断の実施など	★★★★★
	人事評価制度の導入	人材育成型人事評価制度の導入など	★★★★★
	行政改革プランの作成	集中改革プランの策定／特殊勤務手当見直し／給与体系及び旅費の見直しなど	★★★★★
	やるべきことは責任をもって行う職場風土づくり	実施計画部局マネジメント制の導入／行政評価研修の実施など	★★★★★
	職員採用計画の再設計	職員採用中期基本方針の策定／職員採用試験の前倒し実施など	★★★★★
筑紫地区の広域連携事業の強化	筑紫地区の広域連携事業の強化	筑紫地域広域行政研究会設置／南部環境事業組合設立など	★★★★★
	自治体改革専門セクションの設置	企画政策部の設置(H18.4月)	★★★★★
	子ども政策調整セクションの設置	こども部の設置(H21.4月)	★★★★★
	男女共同参画条例の制定	大野城市男女共同参画条例を制定(H18.3月)	★★★★★
しきみを変えて、次代に備える	長寿時代に対応したメニューの再構築	介護予防教室「まどかスクール」の実施／健康づくりミニティ・足元気教室の実施など	★★★★★
	高齢者・障害者福祉充実のための施設サービスの充実	包括支援センターの運営と組織充実／すこやか交流プラザの増築と駐車場の拡充など	★★★★★
	在宅ケアや配食サービスなどの推進	在宅介護支援センターの役割明確化／配食サービスの拡充など	★★★★★
	地産地消運動による商工業・農業の連携	ゆめ畑大野城店の誘致／農産物直売所出荷支援事業の実施／プレミアム商品券発行支援事業など	★★★★★
	地域特産品の開発・振興	特産品・推薦品選定・奨励への支援／オリジナル食メニュー（ハッピーリング、鳥ばっかけ）の開発支援など	★★★★★
	食育運動の推進	食育推進計画（現、大野城健康・食育プラン）の策定／地元野菜の学校給食への提供など	★★★★★
	防災マップの改訂	防災ハザードマップを改訂	★★★★★
	新しい防災プランの制定	大野城市地域防災計画の策定／大野城市国民保護計画の策定など	★★★★★
	筑紫野警察署の分割	筑紫野警察署を分割し春日警察署を設置	★★★★★
	地域ボランティアなどと連携した防犯体制の再構築	防犯専門官の配置／青色パトロールカーを活用した市民の見守りパトロールの実施など	★★★★★
	市民運動の推進による自然環境保全意識の浸透	おおのじょう緑のトラスト協会への支援／ごみ減量対策事業／事業所ごみ減量化推進事業／共生の森再生事業など	★★★★★
	小・中学校の校区を再編成	校区の弾力運用等の実施など	★★★★★
社会资本の充実と活用をはかる	地域を巻き込んだ学校評議員制度の導入	学校評議員制度の全校導入（現在、学校運営協議会の全校設置に発展）	★★★★★
	西鉄連続立体交差事業の促進	西鉄連続立体交差事業を促進	★★★★★
	西鉄白木原駅東口の開設	西鉄白木原駅東口を開設	★★★★★
	下大利駅周辺の整備	下大利駅周辺整備（下大利駅東地区画整理事業促進、下大利西線・下大利南ヶ丘線整備、下大利中央公園整備）を推進	★★★★★
	御笠川改修事業の促進	御笠川改修事業等により河道改修が完了(H20)	★★★★★
	計画道路の整備促進	街路事業を促進（那珂川宇美線、現人橋乙金線、白木原下大利線、平野南ヶ丘線等）	★★★★★
	街灯・防犯灯の整備促進	御笠川遊歩道照明灯整備事業、防犯灯のL E D化を実施	★★★★★
	高齢者や障害者にやさしい道路づくり	バリアフリー道路整備を促進	★★★★★
	公共施設の整備や公園の活用策を再検討	公園再整備のすすめ事業／街区公園再整備事業／公園施設改修事業などを推進	★★★★★
	区画整理事業の促進	上大利南・北両土地区画整理事業が完了／乙金第二土地区画整理事業を促進	★★★★★
	入札、契約制度の公開	入札制度の改革を実施（一般競争入札の拡大、総合評価方式の試行導入、工事契約の予定価格等の公表など）	★★★★★
	遊休資産の再チェックと活用策の検討	市有地利用検討委員会での未利用市有地の再チェックと不要資産の処分などを実施	★★★★★

【評価の見方】

★★★★★ 実施済み又は具体的な成果が表れているもの

★★★★☆ 取組み中で進捗度が高い状況のもの又はある程度の成果が表れているもの

★★★★☆☆ 取組み中で進捗度が中間程度の状況のもの

★★★★☆☆ 取組み中で進捗度が低い状況のもの

★★★★☆☆ 未実施又は検討中

### ③ 2期目マニフェスト（公約）の取組み状況と評価（H21～H25）

テーマ	マニフェストの項目	主な取り組みの状況	評価
M-Project I ともに創る個性輝くやすらぎの新コミュニティ都市 新しいマスタープラン (H21年度～H30年度)による施策を推進します。	リーディング・プロジェクトⅠ コミュニティ元気プロジェクト	P D C Aサイクルへの市民参画の促進／コミュニティセンター窓口の機能強化／コミュニティセンターへの簡易証明端末機の設置／コミュニティセンター書類預かりサービス事業／コミュニティ別人権問題啓発講演会の開催など 34項目中31項目が実施済	★★★★★
	リーディング・プロジェクトⅡ ひと・まちいきいきプロジェクト	コミュニケーションスクールを目指した学校運営協議会制度の研究／食の重要性認識の取り組み／学校図書館の充実／高齢者の元気づくりの推進／古代山城サミットの開催／農産物直売所からの地域情報の発信など 31項目中27項目が実施済	★★★★☆
	リーディング・プロジェクトⅢ くらしやすらぎプロジェクト	高齢者の生きがい対策の推進／公民館での子育てサロンの拡充／子どもの放課後の居場所づくりの推進／福祉総合窓口の開設／公共施設耐震化の促進／災害時要援護者避難支援プランの策定／荒廃森林整備事業の推進／都市計画道路整備事業の推進など 32項目中32項目が実施済	★★★★★
	パートナーシップで自治力みなぎるまち (コミュニティ)	市民への情報の提供／政策・方針決定の場への女性の参画の促進／広聴の窓口及び手段の充実／国際理解向上の取り組み／各種審議会等における公募制度の充実／市の組織体制の整備など 29項目中29項目が実施済	★★★★★
	心豊かな人と文化を育むまち (教育・文化)	文化連盟や市民団体などが主導する芸術イベントに対する支援／大野城市の特色を活かした放課後子ども教室の実施／牛頸須恵器窯跡の整備および活用／「心の教育」推進大会の充実／歴史・文化・観光などを継承する複合施設「(仮称)ふるさと館」の検討など 64項目中58項目が実施済	★★★★☆
	賑わいと魅力あるまち (産業・経済)	経営診断などによる中小企業育成支援／障害者自立支援法に基づく就労継続支援事業の推進／消費生活センター設置と相談業務の充実／大野城市中小企業融資制度による支援など 25項目中25項目が実施済	★★★★★
	幸せな暮らしをともに支えるまち (健康・福祉)	すこやか大野城21の推進／在宅介護支援センターによる高齢者の生活支援／子育て情報機能の充実強化／在宅福祉事業の充実／医療費適正化事業など 38項目中38項目が実施済	★★★★★
	安心でやすらぎのあるまち (環境・安全)	筑紫野警察署分署の実現に向けた取り組み／(仮称)マナーアップ条例の制定／消防団活性化計画の策定と推進／福岡都市圏南部環境事業組合における中間・最終処分場建設の推進など 22項目中20項目が実施済	★★★★☆
	自然と共生する便利で快適なまち (都市・建設)	市街地における浸水多発地域の解消／都市計画マスターplanの見直し／水道事業広域化に向けた関係自治体の連携強化／下大利駅東・乙金第二土地区画整理事業の促進／交通パリアフリー事業計画に沿った整備促進など 29項目中26項目が実施済	★★★★☆
	市民の信頼に応えるまち (地域経営)	窓口支援システムの構築／政策法務を担当する部署の明確化／オープンシステム再編成推進事業など 37項目中36項目が実施済	★★★★☆
M-Project II 「コミュニティによる都市づくり」セカンドステージへ 新しいコミュニティ構想～人づくり・地域づくり編(H20年度～H28年度)を推進します。	パートナーシップ意識の普及・啓発のための仕組みづくり	パートナーシップ活動ガイドブックの発行／パートナーシップのまちづくりに関する市民意識調査の実施など	★★★★★
	情報と課題の共有化のための仕組みづくり	パートナーシップのまちづくり推進のための情報提供体制の整備／コミュニティセンター、公民館での情報提供機能の充実など	★★★★☆
	パートナーシップによる市政運営のための仕組みづくり	(仮称)市民の声システムの構築／行政評価制度の充実と市民参加機会の拡充など	★★★★☆
	多彩な市民力を活かすための仕組みづくり	使ってちょうだいパンくの整備／パートナーシップ活動を支援する制度の充実など	★★★★★
	市の推進体制整備のための仕組みづくり	(仮称)パートナーシップ活動支援センターの設置／(仮称)まちづくりパートナー基金の創設など	★★★★★
	多様な職員力を活かすための仕組みづくり	市職員を対象としたパートナーシップ意識向上研修の実施／パートナーシップのまちづくり職員サポートチーム制度の創設など	★★★★★
	コミュニティ協議会の設置	コミュニティ運営協議会を発展させ、多彩な市民力の結集により、地域が抱える課題解決に重点をおいた運営への転換	★★★★★
	地域行政センターの設置	コミュニティセンターをパートナーシップのまちづくり拠点とし、市民のまちづくり活動に迅速かつ適切に対応できる体制をづくり	★★★★★
M-Project III 明日につながる想い “新時代対応ライフタウンプロジェクト”	市政施行40周年記念事業の実施	市政施行40周年となる平成24年に、四つのコミュニティと26区の連携と協働を深める記念事業を実施	★★★★★
	高齢者ことぶき大学「若返りアカデミー」の開設	高齢者の皆さんのが、余暇時間をより若々しい気持ちで過ごしていただき、仲間と交流しながら楽しく学び合う場づくり	★★★★★
	「一戸一灯ホット運動」の展開	地域ぐるみで安全安心のまちづくりを進めため、各家庭の門灯や玄関灯を夜間点灯させる「一戸一灯ホット運動」の取組み ※東日本大震災後の電力需要逼迫を受けて休止	★★☆☆☆
	さわやかマナーアップ運動の推進	規範意識の向上やマナー意識の向上を目的として、市民総ぐるみで取り組む「さわやかマナーアップ運動」を推進	★★★★☆
	(仮称)安全安心まちづくり条例の制定	パートナーシップと共に助の考えのもと、安全で安心に暮らすことができる地域社会の形成を目的とする条例の制定	★★★★★
	県事業へのバックアップ	筑紫野警察署の分割、西鉄連続立体交差事業、県立特別支援学校新設、県と市町村による共同公文書館新設など、県との連携を密にし、事業の推進をバックアップ	★★★★☆

④ 3期目マニフェスト（公約）の取組み状況と評価（H25～H29）

やすらぎの未来（健康・福祉・教育・コミュニティ・安全安心）

テーマ	マニフェストの項目	主な取組み状況	取組みの成果	評価
【1の柱】 やすらぎのある暮らし ～すべての人が支えあいともに暮らすまち～	「すこやか大野城21」の推進	健康づくりと食育を一体的に推進する新たな計画として「大野城健康・食育プラン(H27-H36)」を策定し、共に支え合い健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に取組みました。	○健康・食育プランの進捗評価から(H25⇒H27) ・子ども相談センターの保護者の認知度:45%⇒58% ・特定保健指導の実施率:23%⇒31%	★★★★☆☆
	地域福祉活動の指針となる計画の策定	大野城市社会福祉協議会とともに新たに策定した「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画(H27-H29)」に基づき、行政・社会福祉関係者・地域が連携して地域福祉の充実・強化を図る施策を実施しました。	○認知症行方不明者搜索模擬訓練の実施 H26:上大利区(146名参加) H27:下筒井区(154名参加) H28:南ヶ丘2区(132名参加)	★★★★★☆
	生き生きと輝く女性を応援	「第3次大野城市男女共同参画基本計画(H25-H29)」に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、女性の参加機会の拡充など各種施策を実施しました。また、地域のリーダーとして活躍する女性リーダーの育成にも力を注ぎました。	○審議会等への女性登用率(H27):43.6% ○地域女性リーダー育成講座修了者数:延べ21人	★★★★☆☆
【2の柱】 やすらぎの中での誕生 ～安心して子育てができる元気な子どもが翔（かける）まち～	「夢とみらいの子どもプラン」の推進	福祉や教育などの垣根を越えた視点で「夢とみらいの子どもプランⅡ(H26-H30)」を新たに策定し、多様化していく子どもや若者の現状と課題を整理し、全ての子どもに寄り添い、個人の成長度合いや価値観に即した育成施策を展開しました。	○夢とみらいの子どもプランⅡの中間評価から(H25⇒H28) ・午後9時までに就寝する幼児の割合:28%⇒33% ・しつけや教育に自信が持てない保護者の割合:58%⇒36%	★★★★☆☆
	子育て支援サービス・相談機能の充実	すくすく子育て教室や赤ちゃんホームヘルプサービスなど総合的な子育て支援を行うとともに、すこやか育児相談や赤ちゃん訪問など通じて子育てや子どもの健康に関する相談体制の充実を図りました。また、子ども関係の事業やサービスをまとめた冊子「みらいず」の作成や子育て情報サイト「キッズ&ユースネット」を開設しました。	○すくすく子育て教室参加者数(H28):192人 ○すこやか育児相談参加者数(H28):1,400人 ○赤ちゃん訪問乳児数(H28.2月末):1,073人	★★★★★☆
	待機児童解消プロジェクトの実施	保育ニーズの高まりを踏まえて、保育所の定員拡充を着実に図るとともに届出保育施設への支援、施設整備や備品購入の補助など、待機児童解消に向けた施策を総合的に展開しました。	○保育所定員数 H26:1,781人(対前年90人増) H27:2,003人(対前年222人増) H28:2,041人(対前年38人増)	★★★★☆☆
	ブックスタート事業の推進	赤ちゃんと保護者に絵本を渡し読み聞かせの大切さを伝える「ブックスタート事業(H25.8月開始)」を通じて、絵本を読む楽しみと一緒に過ごす時間を共有し、親子の心のふれあいを育む活動を展開しました。	○ブックスタート事業の参加者数と絵本配布冊数 H26:885人／1,770冊 H27:852人／1,704冊 H28:786人／1,572冊(2月末)	★★★★☆☆
	子ども医療費助成制度の拡充	子ども達の健康を守り、子育て世代の経済的負担を軽減する目的で実施している「子ども医療助成制度」について、H28.10月から助成対象を外来は小学生まで、入院は中学生までにそれぞれ拡大し制度の拡充を図りました。	○助成受給者数及び助成額 H25:10,152人／236,178千円 H27:12,952人／253,432千円 H28:15,461人／289,462千円(2月末)	★★★★★☆
【3の柱】 やすらぎで迎える長寿 ～健やかに歳を重ね生きがいを感じるまち～	2015年・2025年問題への備え	「使ってパンクのおタスクさん登録」や「介護予防ボランティア事業」などを通じて、元気な高齢者の活躍の場を設けるなど、高齢者の社会活動への参加と生きがいづくりを図る施策を展開しました。	○65歳以上のおタスクさん登録数:209人中102人 ○介護予防ボランティア登録数:42人	★★★★☆☆
	高齢者の生きがいづくりを応援	シニア大学「山城塾」などを通して、地域で元気に活躍されている高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを支援しました。また、高齢者生きがい創造センターへの支援を通じて、高齢者の就労支援などに取り組みました。	○シニア大学山城塾の講座数と受講者数 H26:16講座／117人 H27:18講座／209人 H28:19講座／253人	★★★★★☆
	きめ細かな介護予防事業の展開	介護予防教室などスクールや、足元気教室、音楽サロンなどを通じて、高齢者の生活機能の維持・向上や閉じこもり予防などをはかる事業を積極的に展開しました。	○介護予防事業の参加者数 H26:6,187人 H27:5,950人 H28:5,070人(2月末)	★★★★☆☆
	介護サービスの提供	グループホームの整備や「認知症初期集中支援事業」など、住み慣れた地域の中で、すこやかによいを重ねることができる環境づくりを進めました。	○地域密着型サービスの利用者数 H26:3,571人 H27:3,775人 H28:4,276人(1月末)	★★★★★☆
【4の柱】 やすらぎを繋ぐ～絆で繋がる人と人～	信頼の「和」でつながる元気なコミュニティの実現	困り事の解決を通して、地域の人と人を結び付ける「使ってパンク暮らしのサポート事業」や団体と市が共働で地域課題の解決に取組む「共働提案事業」など、自助・共助・公助の仕組みの中で、新しいコミュニティのかたちを実現するための事業を展開しました。	○暮らしのサポート事業でのサービス提供件数 H26:472件 H27:735件 H28:1,040件(2月末)	★★★★★☆
	大野城版コミュニティスクールの展開	「大野城市教育施策大綱(H27-H30)」を策定するとともに、「学校運営協議会」を全小中学校に設置し、家庭・地域・学校・行政が連携し、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりと支援体制を充実させながら開かれた学校運営に取組みました。	○学校運営協議会の開催状況(H28) 開催回数:6回 延べ参加者数:933人	★★★★★☆
【5の柱】 やすらぎを守る～安全・安心のまち～	命とまちを守る防災力・減災力の充実	すべての市民の皆様の命とまちの安全を守る「大野城市地域防災計画」に基づき「行政と市民一人ひとりが力をあわせて災害に対処する防災体制」の構築を進めました。また、全国に先駆けて完了した小中学校の校舎・体育館の耐震補強に続き、防災拠点である市庁舎の更なる耐震補強やコミュニティセンターの避難所機能の強化など、有事への備えを進めました。	○自主防災組織が実施した防災訓練 H27:実施18区 H28:実施21区 ○コミュニティセンターの避難所機能強化 ・非常用自家発電機設置を完了 ・非構造部材の耐震化を実施中	★★★★☆☆
	危機管理部の設置	様々な危機事象に迅速に対応するセクションとして「危機管理部」を新たに創設しました。また、大規模災害への備えとして、災害発生における支援体制の構築にも力を入れ、団体や企業などと災害時応援協定を締結しました。	○危機管理部の創設:H27.4月 ○災害時応援協定の締結事業所数:26事業所	★★★★☆☆

	老朽危険家屋対策 (空き家条例等)の策定	増加する空き家や老朽家屋等の対策を進めるため、空き家等対策審議会を設置し「大野城市空き家等対策計画」の策定を進めました。	○空き家等対策審議会:H28. 1月に設置し5回の会議を開催 ※空き家等対策計画は4/20までパブリックコメントを実施中	★★★★☆☆
	避難所等へのWi-Fi環境の整備	災害時の避難所にもなる公共施設で、災害時の市民の通信手段の確保を目的とした無線設備「Wi-Fiスポット」の設置を進めています。	○Wi-Fiスポットを設置した避難所数:6ヶ所	★★★★☆☆
	市民の暮らしの安全を守る交番などの配置	H26.4月の春日警察署の開設を受けて、市民の暮らしの安全を守る活動拠点である交番の効果的な配置について、関係機関との協議を進めます。	○市内での刑法犯発生件数 H27:993件 H28:741件	★☆☆☆☆
<b>ふるさとの未来（環境・産業・都市建設・地域経営）</b>				
テーマ	マニフェストの項目	主な取組みの状況（達成度）	取組みの成果	評価
【6の柱】 ふるさとを愛（いと）しむ ～都市と自然が調和したまち～	「まちびか市民運動」の展開	市民や団体が公共の場所のごみ拾いや草取りなどをを行う「まちびか市民運動」を新たに開始し、草の根レベルでの環境美化運動を展開しています。	○まちびか市民運動の登録者数 H26:個人 172人／団体 9団体 H27:個人 120人／団体 96団体 H28:個人 87人／団体 345団体	★★★★☆☆
	里山保全・再生プロジェクトの推進	第1種自然環境保護区域の公有化を進めるとともに、（公財）おおのじょう緑のトラスト協会が中心となって進める「（仮称）里山活用及び生きもの保全計画」策定を支援しています。	○第1種自然環境保護区域の計画的な公有化 H27 公有化面積:73, 181 m <sup>2</sup> H28 公有化面積:53, 677 m <sup>2</sup>	★★★★☆☆
	都市農地の保全と活用	市民農園や景観形成作物の推進、農産物直売所出荷支援事業、親子農業体験事業などにより都市型農業の支援と理解促進に努めました。	○親子農業体験事業の参加者数 H26:29人 H27:79人 H28:83人	★★★★☆☆
	環境行政の広域的な推進	関係者の理解と協力を得て、最終処分場「グリーンヒルまどか」と新南部工場「クリーン・エネ・パーク南部」を新たに整備し適正で安定的な可燃ごみ処理を確保しました。	○グリーンヒルまどかとクリーン・エネ・パーク南部:H28. 4月供用開始	★★★★★
【7の柱】 ふるさとを築く ～連立時代を見据え 快適な都市空間を創造するまち～	「（仮称）市街地にぎわいビジョン」の策定	平成33年に完成が予定されている西鉄天神大牟田線連続立体交差事業を見据え、高架下の有効活用をはじめ、市中心街地のにぎわいと回遊性の向上などを進める上でベースとなる「大野城市高架下利用及び市街地活性化基本計画」の策定を市民や事業関係の参画を得て進めています。	○まちづくりシンポジウムの開催:H28. 10月、参加者130名	★★★★☆☆
	安全・快適な暮らしを支える都市機能の向上	西鉄天神大牟田線連続立体交差事業や街路事業、乙金第二土地区画整理事業など、市民生活の安全や利便性、快適性を確保し、都市の魅力づくりに直結する都市基盤の整備を計画的に推進しました。	○連続立体交差事業の進捗率(H28事業費ベース):72.1%(見込み) ○都市計画道路の整備済み延長 H28:40, 181m(見込み)	★★★★★
【8の柱】 ふるさとで交わる ～にぎわいと魅力があふれるまち～	共感で醸しだすふるさと意識	市民の皆さんとの理解と共感を得て「水城・大野城・基肄城築造1350年事業」や「大野城心のふるさと館」の建設などを通してふるさと意識の更なる醸成をかかりました。	○水城・大野城・基肄城築造1350年記念式典の実施	★★★★☆☆
	大野城市の魅力を生かしたシティプロモーションの展開	ホームページのリニューアルやスマートフォン向けの観光アプリ「ジョークエスト」の開発など、大野市の魅力を市内外に発信する新たなツールの整備を行いました。	○まち歩き型の観光アプリ「ジョークエスト」:H29. 3月リリース	★★★★☆☆
	大野城トレイルの整備	地域の歴史や自然、文化などを歩きながら楽しむことができる歴史と自然の散策路「大野城トレイル」の整備を進め山城ルートなど5ルートの整備を進めています。	○大野城トレイル:H28年度までに山城ルート、水城跡ルートなど5ルートを整備予定	★★★★☆☆
	観光地域づくりプラットフォームの支援	本市のにぎわいづくりの核となる（一社）大野城市にぎわいづくり協議会の設立やまちなかわくわくパビリオンの開催などで市の魅力を発信し、交流人口の拡大を図りました。	○まちなかわくわくパビリオンのイベント数と参加者数 H26:22 イベント / 7, 737人 H27:27 イベント / 12, 509人 H28:34 イベント / 16, 811人	★★★★☆☆
【9の柱】 ふるさとを繋ぐ ～連携するまち～	都市間協力を実現する共同処理体制の構築	福岡都市圏での共通する課題解決に向けて福岡都市圏広域行政推進協議会などの機会を使って関係市町と研究・協議を行いました。	福岡都市圏広域行政推進協議会幹事会の開催回数(H28):3回	★★★★☆☆
	都市間連携・交流の推進	都市間連携・交流の推進として、東日本大震災や市制施行40周年を契機に交流が始まった岩手県奥州市と災害時相互応援協定を締結し、自治体間連携の構築を進めました。	○奥州市との相互応援協定の締結:H29. 3月	★★★★☆☆
	がんばろう日本事業の継続	がんばろう日本事業として「被災地応援まどかショッピング」を設置し、東日本大震災や熊本地震などの被災地への支援を市民ボランティアの協力を得て継続的に取組みました。	○まどかショッピングでの販売額 H27:3, 764千円 H28:3, 507千円(2月末)	★★★★★
【10の柱】 ふるさとを創る ～自立し創造するまち～	後期基本計画の策定と着実な実行	まちづくりの基幹計画である「第5次総合計画後期基本計画(H26-H30)」を市民の参画を得て作成し、進捗状況を確認しながら、確実な事業の実施を進めています。	○後期基本計画の進捗状況 ・リーディング・プラン掲載「主な取組み」:99.0%が着手済み ・分野別プラン掲載「主な取組み」:100%が着手済み	★★★★★
	公共施設の戦略的な活用・管理計画の策定	老朽化が進む公共施設やインフラについて、長期的視野で安全性や利便性などを確保しながら、施設に要する費用を低減し、資産を最大限有效地活用するための基本的な方針をまとめた「大野城市公共施設等総合管理計画(H29-H58)」を策定しました。	○大野城市公共施設等総合管理計画の策定:H28. 10月	★★★★☆☆